

記入日 2020 年 11 月 13 日

一般社団法人日本薬学生連盟

2021 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	小林幸恵
立候補する役職	財務統括理事
大学/学部/学科	東邦大学/薬学部/薬学科
学年	3 年
所属	外務統括理事、財務部、広報部、関東支部 Yaqoo(東邦大学 協力団体)
日本薬学生連盟での活動経歴	2018 年 財務部、外務部 所属 APPS2018 スタッフ 2019 年 財務部、外務部、PR 委員会、広報部 所属 2020 年 外務統括理事 財務部、広報部、関東支部 所属
立候補動機	私は財務統括理事となり、この団体のさらなる発展に貢献したいです。日本薬学生連盟をさらに魅力ある団体にするために、団体運営に必要な資金を調達したいと考え、この度財務統括理事に立候補いたしました。
問題点と改善案	【問題点】 ①本部の共催イベントに対する意識の低さ ②財務統括理事の業務過多 ③ご協賛企業様の減少 【改善案】 ①共催イベントの企画段階で本部の意見を収集する、本部一人一人のご協賛に対する意識を高める ②財務部員の育成、業務の整理 ③ご協賛プランの見直し、新規企業様アタック、全国展開
活動計画	通年計画 共催イベント、営業、メール管理、財務部定期会議 4 月 協賛企業様にご挨拶メール 5、6 月 協賛企業様にご挨拶廻り 7 月～12 月 共催イベント開催(開催日 1 か月前から準備開始) 11 月 年会企画進行開始 3 月 年会企画
所信	【2 つの目標】 私は、2021 年度 財務統括理事として 2 つの目標を掲げ活動いたします。 1 つ目は、現在ご支援を頂いている企業様との共催イベントをより一層盛り上げることで、信頼を高めることです。企業様からの信頼を高めるためには、財務統括の力だけでなく本部全体の協力が必要です。ですから、共催イベントに関しては部門内だけで話し合うのではなく、本部全体で話し合うなど企画の方法から変えようと考えています。企業様との共催イベントについて本部全体で話し合うことで、一人一人に自分事として意識付けしてもらえよう努めます。 2 つ目は、企業様との新しいつながりを築くために、今現在の団体の活動をさらに盛り上げることで強みを増やし魅力を高めることです。団体の想いのみで先方から関心を得ることはできません。今まで先輩方が積み上げてきた実績と、これからの自分たちが積み上げる実績を合わせて、団体の魅力を伝えます。そして、自分たちの代の素晴らしい活動実績を提示できるよう、2021 年度本部の一員として活動してまいります。 この 2 つの目標を心に留め、財務統括理事を務めます。 【財務部員への想い】 私が初めて所属した部署は財務部でした。1 年生の時から財務部員として活動し、多くの経験をさせていただきました。3 年生になった今、財務部での活動のお陰でビジネスマナーやメール作成などのスキルが身についたと実感しています。

財務部で身につくスキルは実践的なものだけではありません。財務部としての“考え方”を身につけることが出来ます。企業様からのご支援は、財務部が企業様と団体の双方の意見を聞き、互いの需要と供給を折り合わせることで成り立っています。そして、企業様とお話する際には、“私”の視点を、本部として、団体会員の一人として、薬学生として、それぞれの視点に分けて意見を述べます。このように、それぞれの立場から意見を述べるスキルは、財務部員としての活動の中で学ぶことができました。また、財務部員としての活動に生かすために、様々な立場を見るよう意識して行動したことで、多くの視点を持てるようになりました。

私は未だ勉強中の身ではありますが、財務部員がこのような経験ができる機会を作り、一年間の活動で何かしらの成長を感じてほしいと思っています。

【財務部から会員へ】

財務部が会員に提供できるものは、将来の選択肢です。現在は、様々な学内説明会やインターン、オンライン説明会などが開催され、昔に比べると企業と接点を持つことは決して難しい時代です。しかし私は、会員に日本薬学生連盟の共催イベントに参加してほしいと思っています。その理由は、社員の方々との距離の近さです。合同説明会などでは切り出せない話題に触れられたり、その企業の雰囲気を生で感じたりすることができます。団体との共催イベントであるため、安心安全であることも大きな理由です。

財務部が共催イベントや役に立つ情報を会員に提供し、将来の選択肢がさらに広がる機会を作っていきます。

【最後に】

COVID-19の影響によって、2020年度のイベントは全てオンライン上で開催されました。慣れないオンラインイベントの運営方法に試行錯誤しながら進めてきたこの年度は、良かった点や改善すべき点が多く見つかった1年だったと感じます。この年度で発見した反省点を余すことなく来年度に活かして、2021年度の活動を盛り上げていきたいです。また、この状況下でも団体が問題なく動くことができたのはここまで土台を築き上げてくれた歴代の先輩方のお陰です。受け継ぐべき伝統は次世代に繋ぎ、改善すべき点は考え直し、来年度さらにレベルアップして次の世代につなげられるよう邁進いたします。